

九州で記録的な大雨。各地で深刻な被害が発生し、全国ニュースで「南阿蘇」の名前や悲惨な映像が流れているため、たくさんの方々からご心配をいただきました。幸い、我が家では田んぼの畦が一部崩れた他は、大きな被害も無く、農作物もほとんど無事。むしろ家に閉じ込められた息子たちのエネルギーはすさまじく、家の中で被害が起きそうな気配です。まあ元気がよい証拠、ということで仕方ありませんね。ご心配いただいた皆さん、本当にありがとうございます。とても励まされました。それにしても、一ヶ月分の雨がたった一日のうちに降ったそうです…。久しぶりにお天道様が現れた時は、もう嬉しくて何からして良いか分からない程でした。



これまでは梅雨に入ると少しは普通の暮らしができていたのですが、田んぼの面積が一気に増えた今年は、雨でも野良仕事を休むわけにはいきません。さんたろうも合羽を着てお手伝い。その甲斐あって、ようやく、本当にようやく、少しはまともな田んぼになってきました。というわけで、ちょっとこれまでを振り返ってみます。



春はまだ寒い3月に始動。用水路の整備や堆肥づくりなどいろいろな準備をします。4月に田んぼと苗の準備。5月は田植え。6月はコイやアイガモを田んぼに入れる環境づくり。この頃から草との戦いが本格的に始まります。何と言っても最初が肝心。雑草が小さいうちにどれだけ抑えられるかが勝負なのです。そして7月。下旬にイネの花が咲いたら、受粉の邪魔をしないため田んぼには入らないようにします。イネも草もぐんと勢いを増すこの時期。来る日も来る日も草と戦ってます…。写真はビフォー・アフターと作業風景です。努力の結果が見えるでしょう？

あんまり草取りを頑張っていたので、友人がアイガモ帽子をプレゼントしてくれました。



というわけで、さっそく田んぼデビュー。名づけて「エリガモ農法」です(笑)。かなり頑張り屋ですが、その分よく飲みよく食べます。帽子は気に入っているのですが、頭が蒸れるのが難点で、耐えられなくなると人間の姿に戻ります。でも悲しいかな、やっぱりアイガモには敵わない。こちらは仕事としてやっていて、あちらは生きるためにやっている。その違いは大きいです。アイガモが頑張っている田んぼの方がずっとずっと草が少ない。お見事です。



そのアイガモ。ずいぶん大きくなってきました。中には「ピヨピヨ」から「ガーガー」と声変わりをしてきたカモも。とにかく食欲旺盛な彼ら。くず米や米ぬかを餌に持っていくと、すっかり隠れるくらいに伸びた稲の間から、にぎやかな声をあげながら水しぶきを上げ、一目散に寄ってきます。田んぼの草だけでは全く足りていないようです。イネの穂が出る前には田んぼから引き上げるので、彼らもあと少しです。

週末は菜園。我が家のリトルファーマーズが勢ぞろいするので、ジャガイモを収穫したり、田んぼのコイを引き上げたり。この時期にいったん田んぼの水を止めて、土中のガスを抜いたり、細かい根っこを切ったりするため、コイを田んぼから出すのです。泥まみれになってキャッキヤと楽しそうに転げ回る3人を眺めるのは、親としての幸せ。私自身は都会で育っているので羨ましいほどです。



ガレキではなく、子どもを受け入れます。

さて、O2ファームから皆さんに、たっぺのお願いがあります。インターネットでこんな写真を見つけたことがきっかけでした。家族と相談し、夏休みに福島から子供たちを受け入れることにしました。食費や滞在費はまかなえるとしても、大きな問題は旅費です。そこで、皆さんにカンパのお願いをすることにしました。もしもご賛同いただける場合は、振込用紙に記載されている金額を二重線で訂正し、お振込み頂ける金額をご記入ください。訂正印が必要だと思いますし、窓口に行かなければならないので、お手間を



とらせてしまいますが、少額からでも結構ですので、どうかご寄付をお願い致します。もちろん当たり前のお振込みでも結構ですし、収支の報告もきちんとさせていただきます。

のびのびと遊べなくなってしまっている福島の子供たちが、O2ファームの一員として、思いっきり外で遊び、3人息子と一緒に泥だらけになってもらいたいと願っています。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。